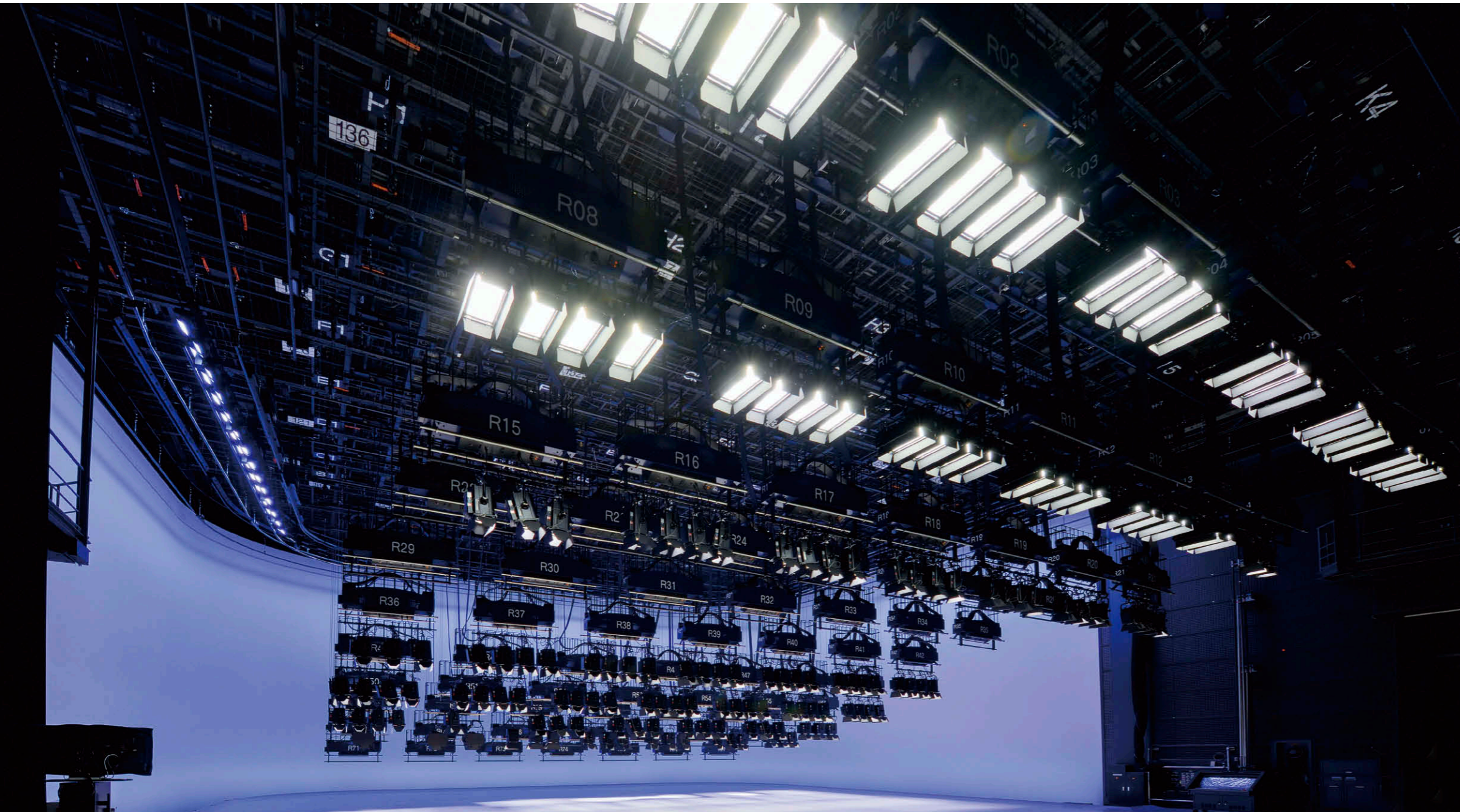


さまざまな番組制作にも対応可能な日本テレビ汐留本社の S1 スタジオが、昨年の S2 スタジオに続き、照明・美術設備のリニューアルを実施。最新の LED 照明器具と照明制御システムを導入し、使い勝手の良いスタジオ照明環境を実現しました。

日本初の民間放送テレビ局として 1953 年に開局し、現在 5 大ネットワークのキー局のひとつとなっている日本テレビ。2003 年の汐留移転により新本社となった日本テレビタワーが、築 15 年を迎えた 2018 年から設備機材のリニューアルが行われ、今回、昨年の S2 スタジオに続いて、S1 スタジオの照明設備、昇降設備リニューアルが実施されました。



【物件概要】
所在地：所在地：東京都港区東新橋一丁目 6 番 1 号
スタジオ面積：697.5 m²
施主：日本テレビ放送網株式会社
リニューアル施工：東芝ライテック株式会社
リニューアル完成：2019 年 7 月



スタジオ内全景と LED 照明器具 手前側に LED ブロードライト④、奥側に LED スポットライト①②③をセットしたエアリバトン。

新型 LED スポットライト、回転可能なエアリバトンによる、先進のスタジオライティング環境。

今回実施された S1 スタジオのリニューアルは、隣接する S2 スタジオとそれぞれの収録に対応しやすいよう、調光操作卓・ソフトウェア・周辺機器構成などの設備構成を共通化することで、作業性、使い勝手を向上させています。

スポットライト、ブロードライト、水平ライトは、すべて RDM に対応した LED 照明器具を導入。なかでもスポットライトには、6 型レンズを搭載したハロゲン 1kW 相当、8 型レンズを搭載したハロゲン

2kW 相当、9 型レンズを搭載したハロゲン 3kW 相当の新型 LED スポットライトを採用しています。

照明バトンのうち 77 掛のエアリバトンは、コンパクトサイズで、かつ回転が可能。器具の吊り込み範囲を、直線バトンの「線」から「円」へ変化させることができ、よりきめ細かく表現力豊かなライティングを実現。さらに、セット間の隙間スペースにも降ろしやすく、仕込みのデスクスペース解消にも貢献します。



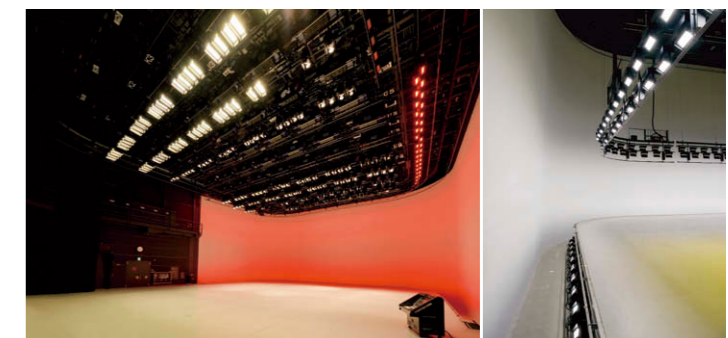
⑦ 照明バトンリモート操作卓



タブレット操作卓



調光操作卓 S2 スタジオと共通仕様とした調光操作卓⑧。RDM の双方向通信により LED 照明器具の吊り位置情報などの認識を可能とした。



LED 水平ライト 2 種類の異なるブルー LED を搭載し多彩な色彩表現を可能にした 5 色タイプの LED 水平ライト⑤⑥。⑤⑥ LED 水平ライト 5 色タイプ



エアリバトンと LED スポットライト 回転可能なエアリバトンを 77 掛導入。エアリバトンは LED スポットライト①②③ 3 台分に対応したコンパクトサイズ。



(左) ① LED スポットライト (ハロゲン 3kW 相当)
(中) 左：③ LED スポットライト (ハロゲン 1kW 相当) 右：② LED スポットライト (ハロゲン 2kW 相当)
(右) ④ LED ブロードライト (ハロゲン 1kW 相当)

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名 (品名)	型名	台数	備考
S1 スタジオ	① LED スポットライト (ハロゲン 3kW 相当)	日本テレビ仕様 (9 型レンズ搭載)	30	消費電力：292W
	② LED スポットライト (ハロゲン 2kW 相当)	日本テレビ仕様 (8 型レンズ搭載)	60	消費電力：245W
	③ LED スポットライト (ハロゲン 1kW 相当)	日本テレビ仕様 (6 型レンズ搭載)	30	消費電力：115W
	④ LED ブロードライト (ハロゲン 1kW 相当)	AL-LED-BRHL	54	消費電力：162W
	⑤ LED 水平ライト 5 色タイプ アッパー	—	163	消費電力：140W
	⑥ LED 水平ライト 5 色タイプ ローア	—	56	消費電力：140W
	⑦ 照明バトンリモート操作卓	—	1 式	—
副調整室	⑧ 日本テレビ仕様 調光操作卓	—	1 式	—
SCR 室	調光主幹盤・調光器盤・直回路 MC 盤	—	1 式	315 回路